

## AI への依頼 次ページより output

起案した「モデル無き社会打破事務局群」について、解決案・代替案・救済案を募って、課題ニーズを抱くステークホルダーに提案をメッセージングするホームページを制作しようと考えています。下記の起案を実装できるページ構成をツリー構造で、レイアウトデザインも併せて簡易案と充実案を示してください。発起人は、10名居ます。事務局群が展開しようとするメニュー表の中に、起案者が備えるメニューが編み込まれていることを念頭すること。（貼付したエクセルの URL からメニューを組み立てます）

### ●起案概要は、下記。

現在、私は日本の産業構造に漂う閉塞感を打破するため、  
100～300 の専門事務局を同時多発的に設立する  
「社会課題攻略事務局『群れ』構想」を起案しました。

かつて 2017 年に経済産業省が「不安な個人 立ちすくむ国家」を著してから時が経ち、2026 年の今も、  
産業構造に提起された課題群はカタチを変えつつも、  
閉塞感だけはそのまま産業・生活構造を覆っております。

本起案は、この閉塞感の直接攻略を狙い、  
「個人とシステムとの圧倒的な距離」を埋め、  
一人ひとりの手と力が社会に届く道筋を実装するため、  
以下の 3 点を柱に掲げています。

- 閉塞感の打破：硬直化した仕組みに風穴を開ける「実働部隊（事務局）」の量産
- 不安・孤立の解消：孤立を構造的に予防する、具体的な支援と繋がり場の構築
- 個人とシステムの再接続：個人の意思が社会へ反映される「代替ルート」の構築

### ●起案を表現した URL は下記。

<https://aboutyou.tokyo/nomodel001>

以下、添付 Excel の URL 群と既存ページの内容を土台にして、「**モデル無き社会打破事務局群**」用ホームページとして実装しやすい構成に再編集した案です。

結論からいうと、**既存の about You の資産は「思想・メニュー・学習・道具・市場・基盤・イベント・沿革」に分かれている**ため、これをそのまま活かしつつ、今回新たに必要な**①起案紹介 ②解決案募集 ③ステークホルダー別提案導線 ④10名発起人の可視化 ⑤事務局群メニュー一覧**を上位階層に追加するのが最も自然です。

## 1. 既存資産から読み取れる、今回サイトに流用すべき骨格

### 既存 URL 群の意味整理

Excel に入っていた URL 群は、概ね次の 8 系統です。

これらは今回の新サイトでも、そのまま「**下層コンテンツ群**」として再利用できます。

系統	役割	新サイトでの使い方
危機認識	閉塞感・危機感の提示	起案背景・課題提起ページへ
メニュー	個人・事業・社会への提供メニュー	事務局群メニューの原型
講座/育成	人材育成・参加導線	事務局参加準備、学習導線へ
ワーク	実践ワーク	参加者向け導入/伴走メニューへ
ツール	可視化・起案・対話の道具	提案投稿・整理・支援の実装基盤へ
市場	ニーズとテーマの市場化	課題×提案のマッチング思想へ
プラットフォーム	基盤構想	サイト全体の思想説明へ
組織紹介	沿革・思想・背景	発起人/事務局群紹介へ

## 2. 今回の新サイトで最重要になる情報設計方針

今回のサイトは、単なる紹介サイトではなく、次の3機能を同時に満たす必要があります。

### 1. 起案の意味を伝える

「なぜ今、100~300の専門事務局群なのか」を理解させる。

### 2. 解決案・代替案・救済案を集める

読者を受け身にせず、提案投稿者・協力者・共同発起人候補へ転換する。

### 3. 課題ニーズを抱えるステークホルダーへ提案を届ける

個人、企業、自治体、NPO、地域団体、業界団体などに、事務局群の使い道を見せる。

この3機能は、既存の about You が持つ

「**個人・事業・社会に同時に手をかける**」構造 と非常に相性が良いです。 [Source](#)

また、今回の起案文が掲げる

**閉塞感の打破 / 不安・孤立の解消 / 個人とシステムの再接続**

をトップ階層の3本柱として見せるのが有効です。

## 3. ページ構成ツリー案

### 簡易案

まずは最小構成で公開できる案です。

**1 サイト 10~14 ページ程度**に収め、更新負荷を下げます。

CopyTOP

└─ 1. 起案概要

├─ └─ 構想の背景

├─ └─ 3つの柱

├─ └─ 「モデル無き社会打破事務局群」とは

|

└─ 2. 課題認識 / Crisis

├─ └─ 日本の産業構造の閉塞感

├─ └─ 個人とシステムの距離

- | |— 孤立・不安の構造
- | |— なぜ今この構想か
- |
- |— 3. 事務局群の全体像
- | |— 100～300 事務局の考え方
- | |— 事務局の役割
- | |— 解決案・代替案・救済案の流れ
- | |— ステークホルダーとの接続方法
- |
- |— 4. メニュー一覧
- | |— Person 向け
- | |— Business 向け
- | |— Society 向け
- | |— 発起人メニュー（10 名分）
- |
- |— 5. 提案募集
- | |— 解決案を出したい
- | |— 代替案を出したい
- | |— 救済案を出したい
- | |— 協力・参加したい
- |
- |— 6. ステークホルダー別ページ
- | |— 個人向け
- | |— 企業向け
- | |— 自治体・公共向け
- | |— NPO/地域団体向け
- | |— 業界団体向け
- |
- |— 7. 活用ツール

| |— リーダーシップマッピング

| |— 未来構想書

| |— ヒューマンキャンバス

|

|— 8. 学び・伴走

| |— Lessons

| |— Arrow

| |— イベント

|

|— 9. 発起人・事務局紹介

| |— 発起人 10 名

| |— 事務局群の運営方針

| |— 沿革 / About us

|

|— 10. 問い合わせ / 資料請求

Copy

### この簡易案の狙い

- **まず思想を伝える**
- **次に「何ができるか」を見せる**
- **最後に参加・相談へ導く** という一直線の導線です。

### 充実案

こちらは、今後の拡張まで見据えた案です。

\*\*「募集サイト」兼「提案プラットフォーム」兼「思想アーカイブ」\*\*として育てやすい構成です。

CopyTOP

|— A. 構想

| |— 構想の宣言

| |— 起案背景

- | |— 3つの柱
- | |— 社会課題攻略事務局「群れ」とは
- | |— モデル無き社会打破とは
- | |— よくある誤解 / FAQ

## |— B. 課題地図

- | |— 閉塞感の全体像
- | |— 個人領域の課題
- | |— 事業領域の課題
- | |— 社会領域の課題
- | |— 業界横断課題
- | |— 優先テーマ一覧

## |— C. 事務局群

- | |— 事務局群の設計思想
- | |— 事務局の分類
  - | |— 個人支援系
  - | |— 事業変革系
  - | |— 社会接続系
  - | |— 研究・編集系
  - | |— 提案・実装系
- | |— 事務局ごとの役割テンプレート
- | |— 新規事務局立ち上げ方法
- | |— 参加条件 / 関わり方

## |— D. メニュー

- | |— Person Menu
  - | |— Share
  - | |— Meeting

- | | | └─ Cafe
- | | | └─ 個人向け相談導線
- | | └─ Business Menu
- | | | └─ 未来構想キャンペーン
- | | | └─ 組織内活性化
- | | | └─ 未来顧客育成
- | | | └─ 企業向け提案導線
- | | └─ Society Menu
- | | | └─ 社会課題解決事務局群
- | | | └─ SAR コーディネート
- | | | └─ Café about Business/Society
- | | | └─ 公共・社会向け導線
- | | └─ 発起人メニュー
- | | | └─ 発起人 01
- | | | └─ 発起人 02
- | | | └─ ...
- | | | └─ 発起人 10

## └─ E. 提案広場

- | | └─ 解決案一覧
- | | └─ 代替案一覧
- | | └─ 救済案一覧
- | | └─ 募集中テーマ
- | | └─ 投稿ガイドライン
- | | └─ 審査・編集ポリシー
- | | └─ 事例 / 採択提案

## └─ F. ステークホルダー別提案

- | | └─ 個人

- | |— 企業
- | |— 中小企業
- | |— 自治体
- | |— 教育機関
- | |— NPO/地域団体
- | |— 業界団体
- | |— メディア / 研究者
- |
- |— G. ツール群
- | |— リーダーシップマッピング
- | |— 未来構想書
- | |— ヒューマンキャンバス
- | |— ツール活用事例
- | |— 導入相談
- |
- |— H. 学習・伴走
- | |— Lessons
- | | |— Person Area
- | | |— Business Area
- | | |— Society Area
- | |— Arrow
- | |— Event
- | |— 参加案内
- |
- |— I. 市場と基盤
- | |— Market
- | |— Platform / DNS 構想
- | |— マッチングの考え方
- | |— 実装ロードマップ

- |
- |— J. 発起人・運営
- | |— 発起人 10 名
- | |— 事務局長・ディレクター構想
- | |— 運営規約 / ポリシー
- | |— 沿革
- | |— About us
- |

- |— K. 参加・問い合わせ
- |— 相談したい
- |— 提案したい
- |— 協力したい
- |— 登壇・共催したい
- |— 資料請求

Copy

## 4. レイアウトデザイン案

### 4-1. 簡易案のレイアウト

目的：まず公開して伝わることを優先。

#### TOP ページ

##### ファーストビュー

- 大きなキャッチコピー
- 3本柱を3カラムで表示
- CTA ボタンを2つ
  - 「提案を投稿する」
  - 「事務局群を知る」

##### その下

1. 起案背景
2. 課題認識
3. 事務局群とは
4. メニュー一覧
5. ステークホルダー別導線
6. 発起人10名
7. 問い合わせ

##### デザインのトーン

- 背景：白 or ごく薄いグレー
- 差し色：濃紺 + 深緑 + オレンジ少量
- 書体：明朝寄り見出し + 可読性の高いゴシック本文
- 印象：**思想性・公共性・起案感**

##### ワイヤーの簡易イメージ

Copy[ヘッダー]

ロゴ | 構想 | 事務局群 | メニュー | 提案募集 | 発起人 | 問い合わせ

[ヒーロー]

大見出し

サブコピー

[提案を投稿する] [資料を見る]

[3つの柱]

閉塞感の打破 | 不安・孤立の解消 | 個人とシステムの再接続

[課題認識]

説明文 + 図解

[事務局群の全体像]

仕組み図

[メニュー]

Person / Business / Society / 発起人メニュー

[ステークホルダー別導線]

個人 / 企業 / 自治体 / 団体

[発起人 10 名]

10 カード一覧

[フッター]

沿革 / 利用規約 / 問い合わせ

## 4-2. 充実案のレイアウト

目的：思想と実装と参加導線を一体で見せる。

### TOP ページ

#### セクション構成

1. ヒーロー
2. 起案の宣言
3. 課題地図
4. 事務局群の仕組み図
5. 解決案・代替案・救済案の募集
6. ステークホルダー別の入口
7. メニュー一覧
8. ツール群
9. 学び・イベント
10. 発起人 10 名
11. 最新提案 / お知らせ
12. CTA

#### デザインの特徴

- ヒーロー背景にネットワーク図や円卓図
- 「課題→事務局→提案→接続」の流れを図式化
- 発起人 10 名は単なる顔並びではなく、担当領域付きのカード
- スクロールに応じて、事務局群の全体像が段階的に見える設計

#### UI パーツ

- タブ切替：Person / Business / Society / Founder Menu
- カード一覧：事務局カテゴリ、発起人、提案テーマ
- タイムライン：沿革
- アコーディオン：FAQ
- フィルター：課題領域別、ステークホルダー別、提案種別別

## 5. 「起案者が備えるメニューが事務局群の中に編み込まれている」見せ方

ここが今回の肝です。

単に「発起人紹介」を置くだけでは弱く、**発起人各自が事務局群の一部を担う**ように見せるべきです。

## 実装ルール

### 見せ方の基本

- 事務局群 = 全体メニュー
- 発起人 10 名 = 各メニューの担い手
- 各発起人ページ = 「担当テーマ」「提供可能メニュー」「募集したい協力」「提案先想定」を明記

### 例

発起人カード項目	内容
発起人名	氏名または肩書
担当事務局	例：孤立予防事務局、地域編集事務局、事業再設計事務局
提供メニュー	Share / Meeting / Cafe / 未来構想 / 課題編集 等
得意領域	個人 / 事業 / 社会
募集中	解決案 / 代替案 / 救済案 / 連携先
相談先	個人・企業・自治体など

### サイト上の編み込み方

メニュー一覧ページで、各メニューの下に

「このメニューを担当する発起人」

を表示すると、構造が非常に伝わりやすいです。

## 6. 既存メニューを、新サイトにどう再編するか

既存 about You には、すでに強い骨格があります。

それを次のように再編すると、今回の起案へ自然につながります。

### 再編マップ

既存資産	新サイトでの位置づけ
Crisis	課題認識 / なぜ今か
Person Menu	個人の孤立・不安・自己実現支援
Business Menu	組織の閉塞感・活性化・未来顧客育成
Society Menu	事務局群の中核、社会接続・提案実装
Lessons	参加者育成・事務局人材の土台
Arrow	行動化・実践ワーク
Tool	提案可視化と対話の道具
Market	課題とニーズの接続思想
Platform	将来の基盤構想
About us	思想・沿革・信頼形成

この再編は、既存サイトが掲げる

**個人・事業・社会への同時アプローチ、**

およびツールによる可視化・提案の考え方と一致しています。

## 7. ステークホルダー別の導線設計

このサイトは「読むサイト」ではなく、**相手ごとに刺さる入口が必要**です。

最低でも次の 5 導線はトップから直接入れると良いです。

### 導線案

対象	入口文言例	着地ページ
個人	自分の課題や構想を社会につなげたい	個人向け提案ページ
企業	従業員活性化や新しい提案回路を持ちたい	企業向け提案ページ
自治体	孤立・地域課題・参加回路を設計したい	公共向けページ
NPO/地域団体	協働先や提案の受け皿を増やしたい	団体向けページ
研究者・メディア	構想の思想・実験性を把握したい	構想/沿革ページ

## 8. 10名の発起人ページ構成案

発起人が 10 名いるなら、**一覧ページ + 個別ページ** が理想です。

### 一覧ページ

- 顔写真またはアイコン
- 名前
- 一言ミッション
- 担当事務局
- 得意領域
- 詳細へ

### 個別ページ

Copy 発起人プロフィール

└─ 基本情報

└─ なぜこの構想に加わるのか

- └─ 担当する事務局 / テーマ
- └─ 提供可能メニュー
- └─ 求めている解決案・代替案・救済案
- └─ 想定している提案先
- └─ 問い合わせ / 面談導線

## 重要ポイント

10名を横並び紹介するだけでなく、

**「誰が、どの課題を、どのメニューで扱うのか」**

が一目でわかるようにすると、事務局群の実在感が出ます。

## 9. 実装優先度のおすすめ

### まず公開するなら

#### フェーズ1

1. TOP
2. 起案概要
3. 課題認識
4. 事務局群の全体像
5. メニュー一覧
6. 提案募集
7. 発起人一覧
8. 問い合わせ

### 次に拡張

#### フェーズ2

1. ステークホルダー別ページ
2. ツール群
3. 学び・イベント
4. 沿革 / about us

### さらに育てる

#### フェーズ3

1. 提案アーカイブ
2. 事務局個別ページ
3. 発起人個別ページ
4. 課題地図・テーマ一覧
5. 導入事例・採択事例

## 10. 私ならこう置く、ナビゲーション最終案

### グローバルナビ

- 構想
- 課題地図
- 事務局群
- メニュー
- 提案募集
- ステークホルダー別
- 発起人
- 参加 / 問い合わせ

### フッターナビ

- Lessons
- Arrow
- Tool
- Market
- Platform
- About us
- 利用方針
- お問い合わせ

この形だと、**新しい起案の主役は前面に出しつつ、既存資産は下層で生きる**ので、作り直しコストを抑えられます。

## 11. 一言でまとめると

最も相性が良いのは、

**「構想の宣言サイト」 + 「募集プラットフォーム」 + 「既存 about You 資産の再編集」**

として作るやり方です。

特に今回のサイトでは、

- 上位階層に  
**構想 / 課題 / 事務局群 / 提案募集 / 発起人**
- 下位階層に  
**Person / Business / Society / Lessons / Arrow / Tool / Market / Platform / About us**

という二層構造にすると、思想と実務がつながります。

必要であれば次に続けて、

**「この構成をそのまま使えるサイトマップ表」** か、

**「TOP ページのワイヤーフレームをテキスト図で具体化した案」**

まで作れます。